

宇治市水道事業ビジョン・経営戦略
第1次事業実施計画

総 括

令和6年3月

宇治市上下水道部

1. 策定の目的

令和3年3月に「宇治市水道事業ビジョン・経営戦略」（以下、「水道ビジョン」という。）を策定し、今後10年間の水道事業の方向性および投資・財政計画を示しました。水道ビジョンでは、宇治市水道事業の基本理念を「安全な水道水の確実かつ持続的な供給」とし、基本方針、基本目標を定め、目標を実現するための基本となる施策を示しています。

この事業実施計画は、水道ビジョンの基本施策を実現するための具体的な取り組みを定めたもので、事業の目標、内容、取組予定を具体化し、事業執行の財政見通しを立てた上で、実施計画に基づき事業を実施することにより、水道ビジョンの着実な実現を目指すものです。

実施に当たり、令和3年度～5年度までの3年間を第1次、令和6年度～8年度までの3年間を第2次、令和9年度～12年度までの4年間を第3次事業実施計画とし策定しています。

2. 第1次事業実施計画の評価

第1次事業実施計画の進捗、成果等を検証し、事業ごとの評価を行いました。

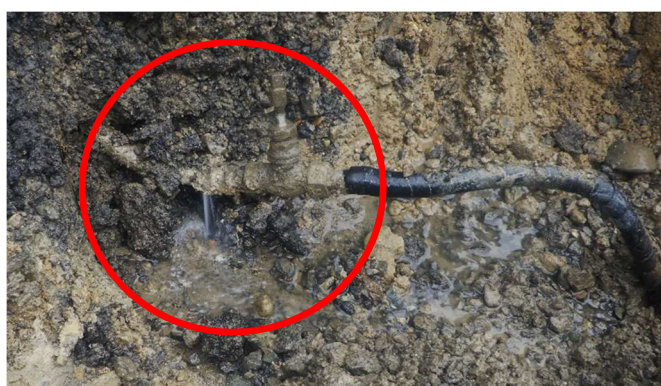


3. 事業実施計画

基本目標 1-1 水質管理の充実

基本施策 1-1-3 鉛製給水管の解消

事業・取組	1-1-3-1 鉛製給水管解消事業				
内容	老朽管更新・耐震化事業等にあわせて、鉛製給水管の布設替えを進め、年間1,000件の布設替えを目標とします。				
スケジュール		R3	R4	R5	R6以降
鉛製給水管布設替え	計画	—————▶			⋯⋯▶
	実施	—————▶			⋯⋯▶
事業費	300,000千円 → 255,000千円（見込）				
備考					
評価	鉛製給水管の布設替えを進め、この3年間の布設替え件数は、約2,000件になる見込みです。引き続き、他事業に伴う改良時に実施するなど計画的且つ効率的に布設替えを行うこととしています。				



鉛製給水管からの漏水状況（拡大写真）









※ 鉛製給水管は錆びにくく加工・修繕が容易ではあるが漏水しやすい。



布設替え完了（遠景写真）

基本目標 2-1 水道施設の更新・耐震化の推進

基本施策 2-1-1 浄水場等の整備

事業・取組	2-1-1-1 浄水場整備事業				
内 容	宇治浄水場の急速ろ過機、電気・機械設備等、老朽化した設備を更新します。				
スケジュール		R3	R4	R5	R6以降
管理棟改修	計画				
	実施				
排水処理設備更新	計画				
	実施				
急速ろ過池築造	計画				
	実施				
事業費	1,341,000千円 → 842,000千円（見込）				
備考					
評価	安定した運用が図れるよう、宇治浄水場の老朽化した管理棟（防水処理・外壁等）の改修、排水処理設備（洗浄排水池・分離水槽・場内配管等）の更新及び急速ろ過池の築造を行っており、引き続き、急速ろ過池の築造を行う予定です。				

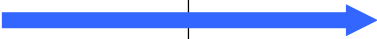




2-1-1-1 浄水場整備事業（宇治浄水場）



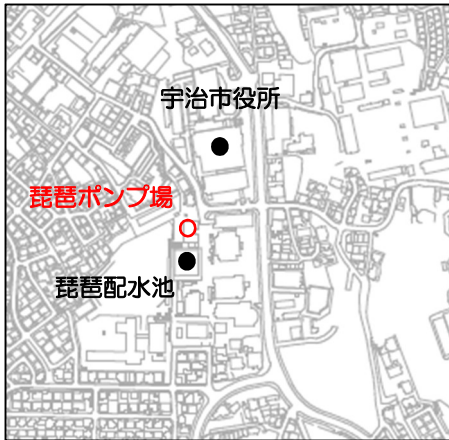
宇治浄水場



急速ろ過池築造状況
(躯体部鉄筋組立段階)

事業・取組	2-1-1-2 主要配水池・ポンプ場耐震化等整備事業				
内 容	水道施設の再編成を進めながら、五ヶ庄配水池・ポンプ場の耐震化、老朽化した設備の更新等および琵琶ポンプ場の送水能力増強、老朽化した設備の更新等を行います。神明高区配水池の廃止により、配水池の耐震化率は39%に向上する見込みです。				
スケジュール		R3	R4	R5	R6以降
琵琶ポンプ場 電気設備更新工事	計画				
	実施				
五ヶ庄配水池第3配水池 耐震補強工事	計画				
	実施				
事業費	502,000千円 → 321,000千円（見込）				
備考					
評 価	<p>琵琶配水池と折居台配水池を結ぶ琵琶送水管の送水能力の増強のため、琵琶ポンプ場の更新を行い、安定した送水量の確保が可能となり、折居台配水池の効果的な運用が図れることになりました。</p> <p>また、配水区域の再編を行い、令和3年度末に神明高区配水池を廃止し、配水池の耐震化率は39.8%に向上しました。</p> <p>更なる配水池の耐震化を図るため、令和4年度より市内全域の給水人口の約2割を占める五ヶ庄配水池の耐震化工事に着手しました。</p>				

2-1-1-2 主要配水池・ポンプ場耐震化等整備事業（琵琶ポンプ場）



位置図（琵琶ポンプ場）



外観（琵琶ポンプ場）



施工状況 1
基盤搬入状況

※ 送水量の増加に伴うポンプ稼働を安定させるため、老朽化した電気設備を更新しました。



施工状況 2
結線状況

2-1-1-2 主要配水池・ポンプ場耐震化等整備事業（五ヶ庄配水池）



位置図（五ヶ庄配水池）

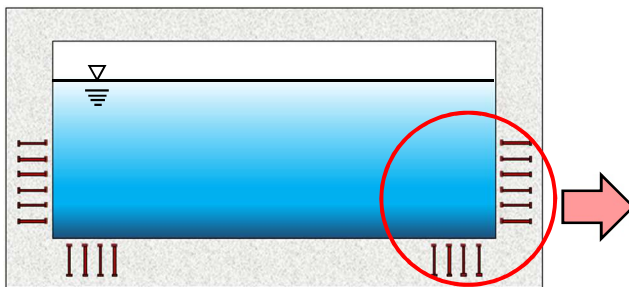
【五ヶ庄配水池（第3配水池）】



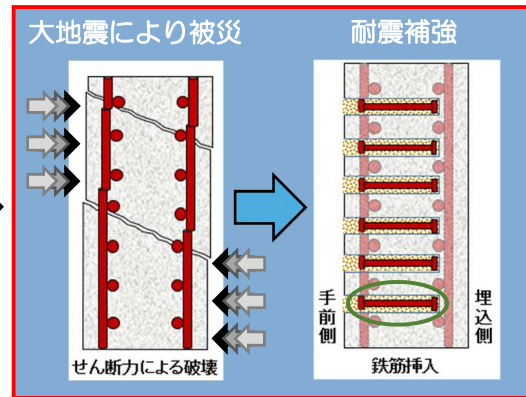
外観

※ 地震で生じるせん断力に耐えるため、せん断補強工を実施しています。

配水池断面



耐震補強イメージ



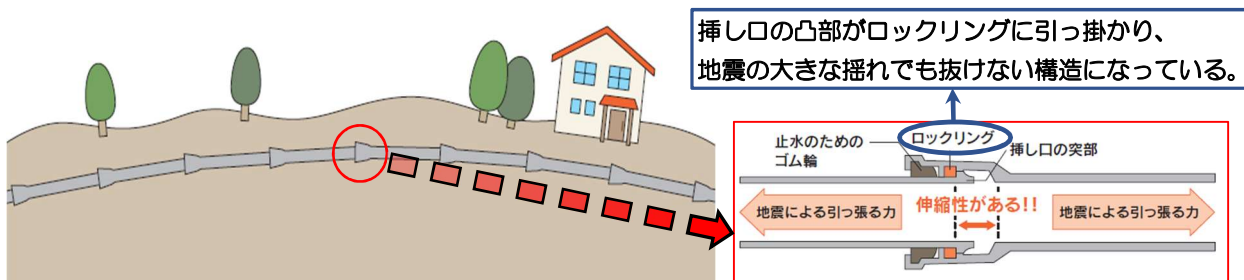
あと施工せん断補強工
（削孔工）



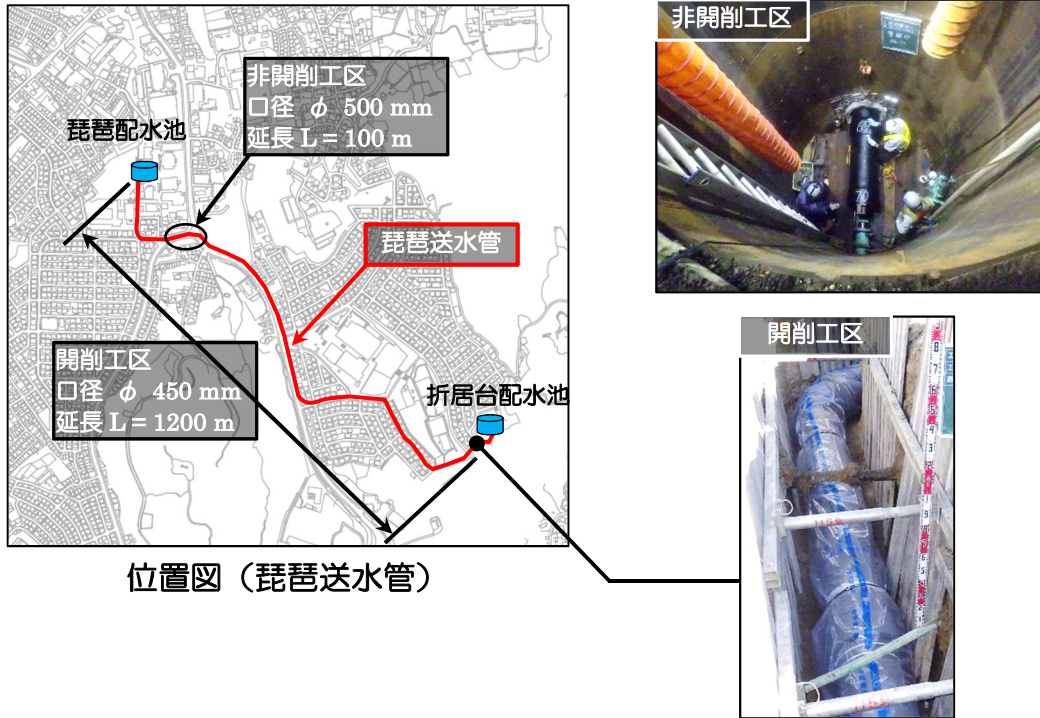
あと施工せん断補強工
（鉄筋挿入工）

基本施策 2-1-2 管路の更新・耐震化

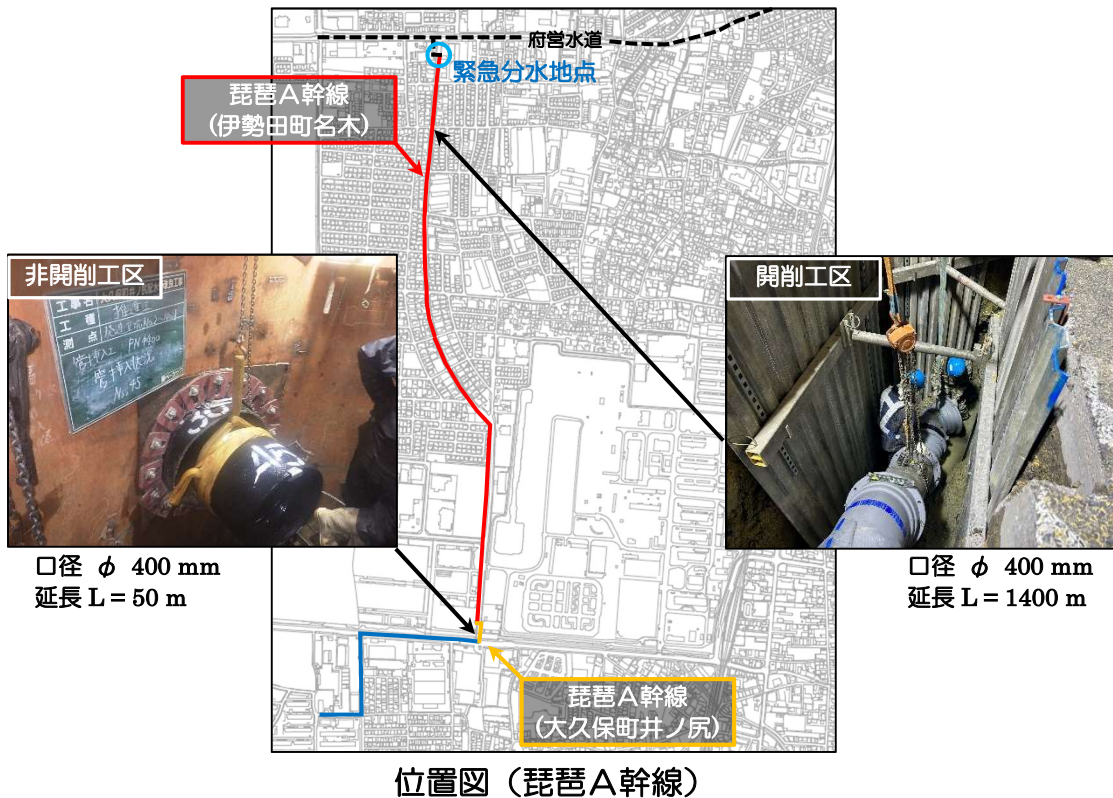
事業・取組	2-1-2-1 基幹管路更新・耐震化事業				
内 容	琵琶送水管、琵琶配水本管等の基幹管路の更新・耐震化を進め、基幹管路の耐震適合率を27%まで向上させることを目標とします。				
スケジュール		R3	R4	R5	R6以降
琵琶送水管改良工事	計画	→			
	実施		→		
琵琶 A 幹線 配水本管改良工事 (大久保町井ノ尻)	計画	→			
	実施		→		
琵琶 A 幹線 配水本管改良工事 (伊勢田町名木)	計画			→	→
	実施			→	→
事業費	965,000千円 → 1,344,000千円(見込)				
備考					
評 価	<p>耐震化が図れている琵琶及び折居台配水池を結ぶ琵琶送水管の耐震化、府営水道名木緊急分水施設と直結している琵琶 A 幹線配水本管の一部の耐震化が完了し、基幹管路の耐震適合率は令和5年度末には30.1%になる見込みです。引き続き、琵琶 A 幹線配水本管等の更新・耐震化を進めています。</p> <p>なお、令和5年度より国の交付金を活用し、基幹管路の更新工事を実施しています。</p>				







2-1-2-1 基幹管路更新・耐震化事業（琵琶送水管改良工事）

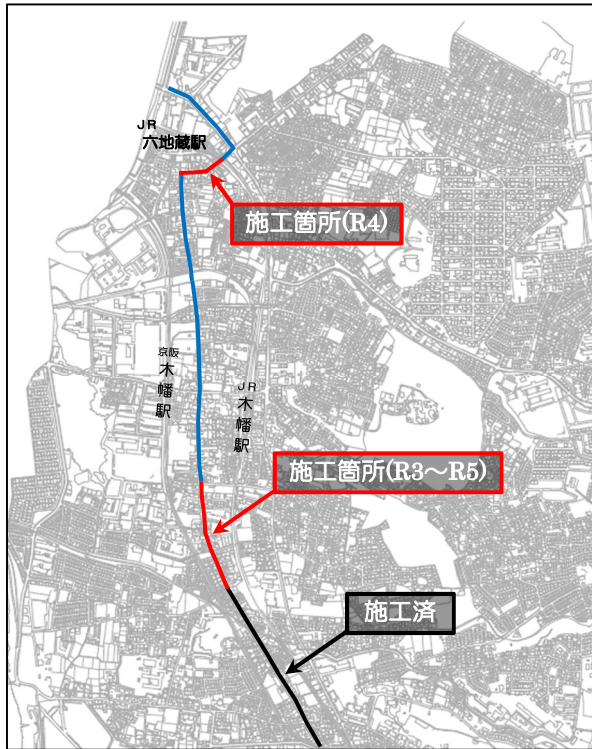


2-1-2-1 基幹管路更新・耐震化事業（琵琶A幹線配水本管改良工事）



事業・取組	2-1-2-2 老朽管更新・耐震化事業				
内 容	石綿セメント管や鋳鉄管等の老朽管の更新・耐震化を進め、管路の耐震適合率を29%まで向上させることを目標とします。				
スケジュール		R3	R4	R5	R6以降
五ヶ庄六地蔵線 配水管改良工事ほか	計画				
	実施				
事業費	750,000千円 → 1,132,000千円（見込）				
備 考					
評 価	<p>強度の劣る石綿セメント管や鋳鉄管等の老朽管を優先して更新・耐震化を進めたことにより、全管路の耐震適合率は令和5年度末には30.7%になる見込みです。</p> <p>また、市道五ヶ庄六地蔵線に埋設されている老朽化した配水管の改良工事については、令和4年度より、国の交付金を活用しています。</p>				

2-1-2-2 老朽管更新・耐震化事業



位置図（工事箇所の一例）









施工状況（既設管撤去工）



施工状況（新設管布設工）

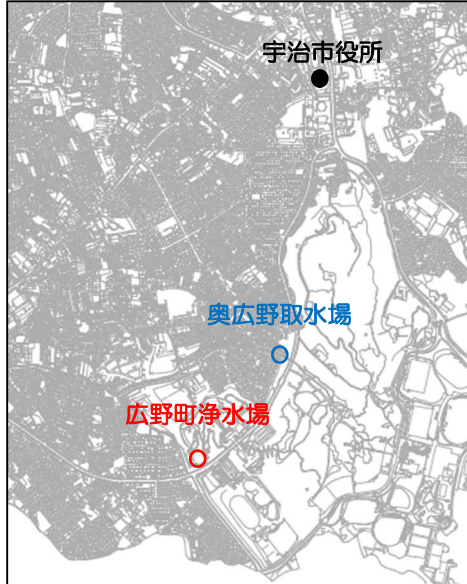
基本目標 3-1 安定した水運用

基本施策 3-1-1 水道施設の再編成

事業・取組	3-1-1-1 浄水場統廃合事業				
内 容	令和3年度末の完成を目途に、新たな浄水場（広野町浄水場）を整備し、老朽化した神明、奥広野浄水場の統廃合を行います。浄水場の統廃合により、浄水施設の耐震化率は82%に向上する見込みです。				
スケジュール		R3	R4	R5	R6以降
広野町浄水場整備	計画				
	実施				
奥広野取水場 取水設備設置工事	計画				
	実施				
浄水場統廃合	計画				
	実施				
事業費	220,000千円 → 226,000千円				
備考					
評価	<p>令和3年度に広野町浄水場の広野取水場の供用、令和4年度には奥広野取水場を供用し、広野町浄水場の全てが完成したことにより、浄水施設の耐震化率は令和4年度末には82.1%になりました。</p> <p>なお、広野町配水区域については順次拡張しています。</p>				

3-1-1-1 浄水場統廃合事業（広野町浄水場整備）

【 広野町浄水場 】









位置図
（広野町浄水場・奥広野取水場）



【奥広野取水場】



事業・取組	3-1-1-2 配水区域再編事業				
内 容	将来の水需要を見据えた施設の規模・配置の適正化を図るとともに、平常時における水量・水圧の安定と災害時における給水の相互運用を図るため、配水区域の再編に基づき、順次、配水区域の変更を行います。				
スケジュール		R3	R4	R5	R6以降
配水管布設工事 (小倉町西山地区)	計画				
	実施				
配水区域変更	計画				
	実施				
事業費	32,000千円 → 64,000千円（見込）				
備 考	小倉町西山地区配水管工事は広野町配水区域拡張のため実施				
評 価	配水区域の再編に基づき、川西地区の広野町、折居台、東山の各配水区域の一部および神明浄水場配水区域の全域を変更しました。引き続き、川西地区の配水区域の再編を進めます。				

4. 事業実施計画総括表

事業・取組	事業費（千円）		取組目標（R5年度末）		
	計画額	見込額	内容	目標値	見込値
鉛製給水管解消事業 (P.2)	300,000	255,000	布設替数(件)	3,000	2,000
浄水場整備事業 (P.3)	1,341,000	842,000	-	-	-
主要配水池・ポンプ場 耐震化等整備事業 (P.5)	502,000	321,000	配水池 耐震化率(%)	39	39.8
基幹管路 更新・耐震化事業 (P.8)	965,000	1,344,000	基幹管路 耐震適合率(%)	27	30.1
老朽管 更新・耐震化事業 (P.10)	750,000	1,132,000	全管路 耐震適合率(%)	29	30.7
浄水場統廃合事業 (P.12)	220,000	226,000	浄水施設 耐震化率(%)	82	82.1
配水区域再編事業 (P.14)	32,000	64,000	-	-	-
合計	4,110,000	4,184,000			

「宇治市水道事業ビジョン・経営戦略」の施策体系

